

町政を問う

伯耆町こども議会の開催を！

町長 若い世代からの政治参加の意欲を
高めていく位置づけは非常にある。



こども議会の様子（高松市議会議場にて）

町長 民主主義をより成熟させていく上で若い世代からの政治参加の意欲を高めていく位置づけは

乾 伯耆町が誕生して十年を迎える。将来を担うこども達を主役に、町政を問うこども議会を開催してはどうか。

こども議会の開催の提案について



乾 裕

教育委員会の沖縄読谷村への訪村について

乾 読谷村のこども達と非常にある。ただ、主催者が大いに問題だ。首長が主催者は適当でない。義務教育の中でそうしたことが可能かどうか教育委員会とのすり合わせをしていただくべきものと思う。

教育長

今後の交流の在り方等について意見交換したい

沖縄読谷村との教育交流・訪村の目的は

本町のこども達の交流は長い歴史がある。中学校の修学旅行では民泊体験なども行っている。こうした背景のもと、教育委員会として同地を訪れる目的はなにか。

教育長 今回の訪村は教育交流が主眼である。読谷村教育委員会及び渡慶次自治会と、今後の交流についての意見交換会を持って、交流のさらなる充実を図っていきたい。その意味で、溝中の修学旅行での交流はこれからも継続する。小学生については、できるだけ相互の交流を通じて伝統、文化あるいは自然や歴史に触れながら、異なる文化を尊重したり異なる考え方を受け入れたりする、そうした広い視野で物事がとらえられる人間形成

教育以外の人的交流はないか

乾 教育交流に止まらずさらなる本格的な交流の考えはないか。

町長 今まで自治会とこども達の交流ということ

に努めていきたい。



溝中修学旅行 ひめゆりの塔にて(糸満市)

だけだった。これが、今回教育交流という形で緒についたばかりであり、その意見で今後何年間かの交流が力ギとなるのではないか。当面はそこを見守っていくことになる。



マリンスポーツ体験（読谷村）